

【只見町】

2019年度 ユネスコエコパーク関連事業

「ただみ豪雪林業体験・観察の森」で 野村総合研究所グループ社員の方々と森林整備活動を実施！

2019（令和元）年10月4日、黒谷区の「ただみ豪雪林業体験・観察の森」（以下、体験の森）で森林整備活動が行われました。この体験の森は、ユネスコエコパーク関連事業の一環として、只見町のような豪雪地帯に適した森林管理技術の開発とその普及、そして体験を図ることを目的として設置され、豪雪地帯に適した人工林の整備や豪雪地帯林業の体験、森林レクリエーション、環境教育などの事業を実施する林となっています。

今回の森林整備活動では、2018（平成30）年に体験の森内で除間伐されたスギ材について、ノコギリで玉切りし林外へ運搬、薪割り機を使って薪材に加工し薪棚（キンニュー）を作る作業を行いました。こうした除間伐材は、多くの森林整備の場では林内に放置され腐るだけですが、薪として利用し、地域の低炭素社会の実現に寄与させようという目的で実施しています。

当日は本事業の目的に賛同、資金協力をいただいている野村総合研究所グループの社員の方々30名が参加し、町職員、ブナセンター職員、只見町森林組合の指導のもと、豪雪地帯での人工林の実態やその管理の実情、林業作業の一端を体感いただきました。



除間伐材（スギ）をノコギリで玉伐りする



斧、薪割り機（手動）、薪割り機（エンジン）を用いて薪割りを行いました

【担当】 只見町役場地域創生課ユネスコエコパーク推進係

TEL 0241-82-5220